

11月10日（木） 総務文教常任委員会

- 調査件名
- 広野駅周辺開発について
- 給食センターの改修について

広野駅周辺開発

給食センター改修

● 駅舎整備
ワークショップの意見が出た、飲食ブースや本屋、さらにはWiFi等について、実際に必要か否か検討中だが、WiFiについては非常時の防災の観点から、必須のものと考えている。学生や通勤者以外は、昼間は高齢者が利用する時間が多く、交流機能を持たせる施設にしたい。

● 東町産業団地
移住定住に有効な、町内に誘致できる企業を増やす産業団地は造成中で、5区画整備をしている。すでに進出が決まっている区画もあり、国や県の事業と共にPRをしながら販売を進めたい。

● 調理員の人数は現在5人だが、新給食センターは、汚染区域と非汚染区域を分けるため人数は8人程度必要と見込んでいる。人数によって変わるが、運営に係る委託料の増額計上が必要と考えている。まだ構想段階だが、床面積は最大で1030㎡を想定している。広野町の給食はアレルギーの対応で工夫し、これからも丁寧な対応をしていく。

維持補修やランニングコストなどを検討して長寿命計画の視点で建築していくとの説明があった。

建設する際は耐用年数を伸ばす事ができるように、メンテナンスのしやすい建物にするよう求めた。



学校給食共同調理場

報告

を報告します

委員会

各常任委員会の活動状況

11月11日（金） 産業厚生常任委員会

- 調査件名
- 農林業の振興について
- 町の道路行政について
- ため池の放射性物質の確認について

農林業の振興

ため池の放射性物質の確認

● イノシシ被害
イノシシ被害は途絶えることはない状況であり、町内においては豚熱の被害は確認されていない。

● 新たなふるさと納税返礼品
新たな返礼品目のカテゴリーは、異なる種類のカレーとドレッシングを組み合わせた4種類があり、レトルト食品と同じ状態で送られ、また寄付額は一万円程度となっている。

● 新規就農支援の取り組みの効果
新規就農支援の取り組み確認と継続について、現在、フロンティアひろので研修を受けている農業研修生については、定期的にも技術的な確認をしております。来年は町内で営農する方向で進んでいる。また来年度の当初予算に向けて新規就農者支援策を策定し計上したい。

● 町内の農業利用をしている全ての、ため池の放射性物質は基準値以下であり、調査業務は今年度をもって完了する。

ため池放射性物質対策事業については、令和元年度台風のような対象があった場合、国に対して町内のため池の再調査を要望していく。

町単独で基礎調査をした場合、そのデータをもって、その後の詳細調査、対策工が交付金対象となるのかどうかについても含めて協議し、住民の安全安心を確保する上で今後の取り組みについて検討していきたい。

西の沢ため池が、国による継続調査対象の理由について、浜通り全体で調査箇所を選定しており、西の沢ため池は経過観察する上である程度水量があるため選定されたとのことだった。

農地中間管理事業

町の道路行政

● 農地中間管理事業（地域集積協力金）の集積率、交付単価
農地中間管理事業（地域集積協力金）における全体の集積率は現在10・7%となっており、津波被災地区の久保田、宮田、久保地区も事業の対象となっている。亀ヶ崎地区契約率及び交付単価については43・5%、10aあたり25000円と

● ふくしま森林再生事業計画面積と空間線量率
ふくしま森林再生事業計画面積と空間線量率については、令和7年度までの実施地区は決まっております。事業計画どおりの面積は完了したい。事業継続が決まっていよいよ令和8年度以降も実施できるよう要望はしていく。また、何のために事

● 防護柵の設置
防護柵については、設置基準により、高さが4m以上あるところについてガードレールを設置することとなっております。町道の区分けではなく、道路から路外に落ちた場合の危険度の度合いで設置を判断することになる。

● 交差点のカラー舗装
交差点のカラー舗装については、広野町通学路交通安全推進会議の合同点検箇所を確認して、保護者、ふたば未来学園にも話を聞きながら対応していきたい。